

地域とともに

お問い合わせは
国土交通省
東北地方整備局
三陸国道事務所
地域づくり相談室まで

三陸国道

がんばろう!東北

〒027-0029
宮古市藤の川4の1
tel 0193-62-1711
fax 0193-71-1734

三陸国道事務所のホームページ及びさんこく携帯サイトは

三陸国道  で検索出来ます。



平成25年三陸国道事務所10大ニュース ～今年の出来事を振り返る～

平成25年も残すところあとわずかとなりました。

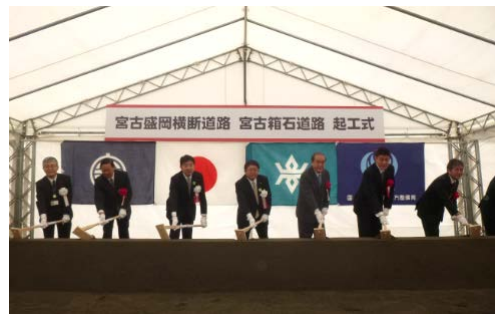
三陸国道事務所職員が選んだ「平成25年三陸国道事務所10大ニュース」を紹介し、今年を振り返ります。

●1位 三陸沿岸道路・宮古盛岡横断道路 各工区の「起工式」が完了 ～事務所管内の「復興道路・復興支援道路」全区間工事着手～

三陸国道事務所管内の復興道路・復興支援道路は、事業化から約2年で、8区間、延長133kmの全区間で工事着手することとなりました。

平成25年に着工した区間

3月 27日	田老岩泉道路
6月 17日	山田宮古道路
6月 27日	野田久慈道路
9月 12日	洋野階上道路
11月 7日	田野畑道路
11月 18日	尾肝要普代道路
11月 30日	宮古箱石道路



▲宮古箱石道路「起工式」

●2位 三陸沿岸道路 普代道路 全線開通 (10月13日)

岩手県内の三陸沿岸道路(復興道路)としては、初めての開通となりました。

開通により国道45号の交通が普代道路へ転換し、通学路の安全性が向上しました。



▲テープカット及びくす玉開披



▲開通記念パレード

●3位 三陸沿岸道路 宮古中央インター線（千徳大橋）開通（3月23日）

開通により、並行する花輪橋、小山田橋の渋滞が緩和し、三陸沿岸道路と宮古市街地へのアクセス性が向上しました。



▲テープカット及びくす玉開披



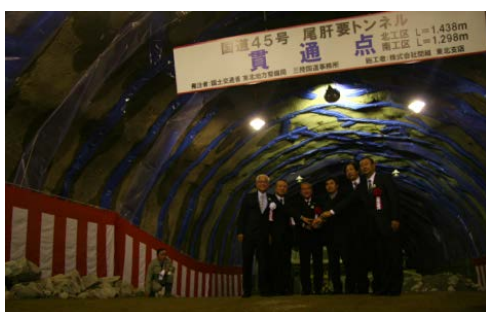
▲親子三代家族による渡り初め

●4位 三陸沿岸道路 尾肝要トンネル 1年3ヶ月で貫通（2月10日）

尾肝要トンネル（2,736m）は、平成23年11月に「復興道路着工式」を開催した場所であり、着工からわずか1年3ヶ月という大変なスピードと技術力で掘り進め、三陸沿岸道路として初めて貫通したトンネルとなりました。



▲トンネル貫通発破



▲来賓、事業者による通り初め

●5位 三陸沿岸道路 田老第6トンネル 工事着手（7月23日）

田老第6トンネル（294m）工事は、三陸沿岸道路の新規事業化区間（11区間14.8km）で初めて着手する工事となりました。

12月22日現在、219mまで掘進しています。



▲トンネル北側坑口



▲9月11日に地元小学生を迎え現場見学会を開催しました

●6位 地域住民の命を守る「津波避難階段」が完成（3月、5月）

陸前高田市、山田町、普代村、久慈市内に計7箇所「津波避難階段」を整備し、安全かつ迅速な避難が可能になりました。



▲普代小小学生の津波避難訓練

●7位 津波警報板が稼働開始（4月1日）

津波警報板は津波浸水区域の手前に設置され、津波警報発令時に道路利用者が津波浸水区域に進入しないよう電光表示などで知らせます。



▲津波警報発令時は速やかに高台へ！

●8位 沿岸で初となる合同（国・県・市）除雪出動式開催（11月22日）

宮古維持出張所で、岩手県沿岸地域では初となる国・県・市の合同除雪出動式を開催し、冬期道路の安全確保を誓いました。



▲号令のもと除雪車が出動しました

●9位 第1回『嬉石松原のまちづくりと桜並木検討会』を開催（10月29日）

まちづくり計画と一体的に行う国道45号の盤上げについて、住民の皆様を交えて検討会を開催し、被災地の復興に向けて動き出しました。



▲検討会の様子

●10位 三陸沿岸道路建設予定地の埋蔵文化財発掘調査に本格着手（4月）

地権者の方々のご協力のもと事業用地提供前に試掘調査を行ったことで調査期間が短縮され、スピードアップと文化財保護の両立が図られました。



▲津軽石大森遺跡での発掘調査説明会

●番外 三陸復興国立公園、三陸ジオパーク、「あまちゃん」ブームで三陸に活気

5月に三陸復興国立公園が創設、9月に三陸ジオパークが日本ジオパークに認定され、今後の三陸地域の活性化や観光振興に向けて大きな起爆剤となることが期待されます。

また、全国的な「あまちゃん」ブームにより多くの観光客が三陸地域を訪れ、道の駅も大変賑わいました。

道の駅は地域の拠点機能強化とネットワーク化を重視した第2ステージに向けて、今後よりいっそう関係機関と連携を強化して参ります。

